

後世へ農地を引き継いでいくために

農地を引き継いでいくことが難しくなっています。農業を支えていく「人の育成」という課題について、長期的な視点に立った取り組みが必要とされています。

農業委員会では、親子を対象とした「こども農業体験会」を開催し、未来の農業人材の育成に取り組んでいます。



上田を実り豊かな地とするために

農地は農業者だけのものではなく、地域の大切な資源です。安心・安全な食べ物や、食料の安定供給に向けて、農地の保全についてみんなで考えていくときが来ています。



農地を守る

上田市農業委員会



上田市フォトコンテスト 2023HARU さんの作品

農業委員会ってなに？



農業委員会は、市町村ごとに設置されている行政機関です。市長から任命された「農業委員」24名と、農業委員会から委嘱された「農地利用最適化推進委員」23名の、計47名で構成されています。農家や地域の人たちの声をお聞きしながら、田・畑・果樹園などの農地を守り、農業が盛んになるための活動をしています。



農地の素晴らしい働きに感謝！

「農地」は、お米や野菜を育て、私たちに食物を提供してくれる他に、目には見えない素晴らしい働きがあることをご存じでしたか。

田や畑には保水機能があります。大雨が降った際には、大量の水をゆっくりと川に戻してくれるため、防災の機能が備わっているといえるのです。

また、「農地」の周辺には、美しい景観が広がっており、そこにはカエルやトンボなど、多様な生き物達が住み着き、豊かな生態系が保たれています。このように、「農地」は私達の生活に大きな恩恵をもたらしてくれています。

生命を支える「食」と、安心して暮らせるための「環境」を守っていくために、「農地」を守り、未来へ引き継いでいきましょう。

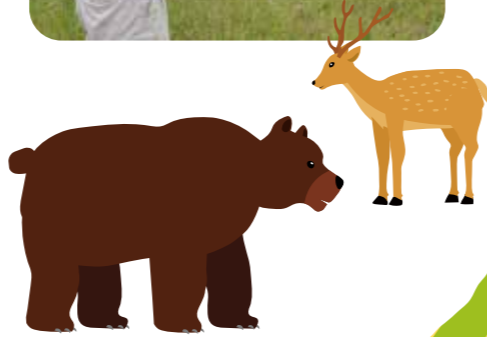


「農業委員会」はこんな活動をしています！

遊休農地の発生防止・解消

市内全ての農地を対象に農地パトロールを行っています。毎年8月～9月には遊休農地の確認を行い、農地所有者の意向確認の調査を実施するなど、遊休農地の解消に向けた活動を行っています。

※農地に雑草が生い茂ると、クマ、シカなどの野生動物が侵入する経路となったり、火災の発生原因になることがあります。また、荒れた農地を元に戻すには、多額の費用や手間がかかるため、適切な管理が必要です。



担い手への農地集約・集積化

農地の「集約（別々に耕している農地を一つにまとめること）」、「集積（農地の面積を拡大すること）」を進め、農業の生産性向上、経営規模の拡大を図ります。



新規参入者の促進

意欲ある新規参入者を支援するため、相談や農地のあっせんなどを行っています。

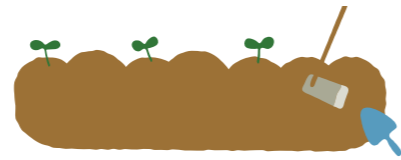


農地相談会の開催

毎年1月～3月の農閑期に実施しています。

相談例

- ・農地を相続したが耕作できない。
 - ・畑を持っていないが耕作したい。
 - ・どのような作物が適しているか聞きたい。
- ※相談会以外でも随時相談を受けつけています。



農業施策への提言

農業者の声を聴き、農業が直面する課題解決のため、市の施策へ反映されるよう要望書を提出しています。



農地の許認可業務

効率的な農地の利用を図るため、貸借、売買、転用など行う場合には、申請に基づき公正に審議を行い許可を出します。



インフォメーション

農家でなくても農地を購入できます！

農地を所有していない方でも「農業をやる意思と能力がある」と認められれば、農地を購入できます。

※「農地の全てを効率的に利用する」「必要な農作業に常時従事する（年間150日以上目安）」「周辺農地に支障がない」などの条件を満たす必要があります。



所有者不明農地を借りたい場合、ご相談ください！

相続登記がされておらず所有者不明となっている農地でも、簡易な手続で借りられる制度があります。お気軽にご相談ください。